

民報あばしり

NO.862
2012.4.8
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七

平成24年度予算案に反対

網走市議会は、3月6日に開会26日に閉会されました。最終日の26日に本会議が開かれ予算等審査特別委員会委員長から平成24年度網走市一般会計と10特別会計及び水道企業会計について、大方の委員の賛成で可決すべきと決定したと報告されました。

特別委員会の報告に対して、討論があり、4名が討論を行いました。はじめに、古都議員が一般会計予算の雇用問題などで納得できない。また、流水館特別会計についても「流水館の建替えは前のめりの議論で拙速、市民の理解が得られない」と反対しました。

次に、平賀議員が民主市民ネットを代表して、能取漁港整備、流水館特別会計、一般会計の一般廃棄物処理施設の建設計画などに課題が多く、樂觀できないなどと指摘した上で、今後も建設的な議論を

続けることを条件に各予算に賛成しました。

続いて、日本共産党議員団を代表して、松浦議員が反対討論。一般会計では過去の身の丈を超える行財政運営をしてきた。そのツケを市民の痛みや職員削減など行政改革と国の財政健全化法により基金を投入し、かろうじて運営してきたが、厳しい状況に変わりはない。

平成22年度末の一般会計債務残高見込みは379億円、長期の借金である債務負担行為は42億円で、取り崩し可能な基金23億円を差し引いても実質債務残高は398億円になる。さらに、特別会計26億円、上水道65億円、下水道111億円もあり、市全体の債務残高は601億円、市民一人当たり152万円になり苦しい状況にある。

予算案の中で、今年も継続した子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種ワクチンや住宅リフォーム政策や生活道路の整備など、いくつかの政策は評価する。しかし、行革による人員削減と業務量の増大は、担当部局に影響を与える。予算編成時の一律5%カットの部別シエアリングでの財源確保政策は、市民生活の実態を反映した政策の企画・立案に大きな制約を持つことになる。

また、第3次行政改革による基本給の削減は職員の士気の低下につながる。さらに、唐突ともいえる観光部の設置は、手順も手法もある。さらに、行政改革推進計画と整合性を欠いていると、言わざるを得ないと反対の理由を述べました。(特別会計などは次号で報告します)



柏崎原発も？

日本には原発が54基ありますが、柏崎刈羽原発6号機の停止と北海道泊原発3号機の定期検査(5月5日)で、全ての原発が停止状態になります。

2日の参議院予算委員会、日本共産党の井上議員が関西電力の大飯原発の再稼働は認められないと迫りました。「原子力安全委員会は大飯原発3、4号機の安全性を確認し、再稼働は妥当と結論を出したのか」と質問し、斑目春樹委員長は「ぜひ2次評価までしていただきたい」と述べ、ストレステスト(耐性試験)の1次評価だけでは不十分だと認めました。

井上議員は、原子力安全・保安院が「やらせ」だけでなく、安全指針見直しの凍結を要請していたことも批判しました。また、「政府の安全審査は不十分だ」とする世論が84%にのぼり、「原因究明も安全確認もできていないなかで再稼働などありえない」と追求すると野田首相は、「地元理解が進んでいるか最終判断する」と答えました。

いよいよ東奔西走

学校図書館が自由な読書活動の場所として、学びの場所として、子どもたちの育ちを支える重要な拠点となり得るのか注目を集めています。

今回の予算審査特別委員会で取り上げた教育での学校図書館司書配置事業です。

網走市でも12学級以上の学校には図書司書の資格を持った教員を配置しているが忙しさの中で、その能力を發揮していないのが現状です。また、法律に基づく義務づけが猶予されている11学級以下では司書資格をもった教員は意識的に配置されていません。

今回、文科省の要望で国は平成24年度からはじめて、週30時間の「学校司書」をおおむね2校に1名程度配置することが可能な規模の財政措置を講じました。ただし、これらの地方財政措置は使途を特定しない。いわゆる一般財源として措置しているため、予算化が図れるよう市長に要求しなければなりません。

教育長は、制度の趣旨は理解していると答弁しましたが、今後、議会からと、学校図書館司書の配置を願う父母の皆さんの運動がカギを握っています。私も頑張ります。

流水

知人の話「中学生が『今の政治家は何も知らないから大阪の橋下さんのようにどんでん返りしてくれませんか』とやっていたのには驚いた」「テレビの影響か、自分の考えなのかわからないけど、『テレビはわたらないけど、』」

か、はたまたまた親などの受け売りか、はたまたまたマスコミによって礼賛報道を繰り返して演じ出された橋下人気に乗り込んで維新の会は政治塾を開き総選挙に300人の候補者を立てる目論見という▼さて、この橋下人気は一体どうやって生まれたのでしょうか？ 確固たる根拠があるのでしょうか？ 政治(家)の評価は何を言っているかではなく、何をやってきたかが大きく問われていきます。橋下氏は、テレビ出演していきなり当選し、その人気を背景に大阪府知事に当選し、それから4年間が橋下氏の政治家としての評価されることとす。しかし、テレビも新聞もこの4年間について殆ど語っていません▼橋下流政治は何でも規制緩和(派遣労働、非正規雇用)の自由化、AIJに見られる金融自由化・で、国民の暮らしをズタズタにした小泉劇場型政治とウラ二つ。それもそのはず、橋下政治のブレーンは堺屋太一、竹下政治の目指すものは財界が喜ぶ小泉を超える新自由主義の更なる推進。▼橋下氏が府知事時代に私学助成を大幅に削減し「助成をやめないで」と涙ながらに陳情した私立高校生たちに「自己責任」と冷たく突き放した姿は、彼の本性を鋭く表現しています。人気をもとに当選したら「すべて委任された」と独裁政治を繰り広げたヒットラーと、どこかダブって見えるのうがちすぎではないでしょうか。▼最後に一つだけ、「あの戦争は侵略戦争ではなかった」「軍慰安婦はいなかった」「南京大虐殺はなかった」と主張する右翼系の人たちは、橋下氏を支持して